

座長 Toyoda

軍縮ハルル討論

(記録 安野)

A. 東京グループ

1. 戦争宣伝禁止法案 (朝永提案)

Toyoda Kumama Yasuno Tomonaga Tanaka の study group  
 軍縮の二つの面 instrumental  
 institutional  
 ↓ 不運 17日提案(?)

米ソの間に戦争宣伝に話し合 → 委員会報告  
 preliminary approve

5月25日に統一見解

改善 戦争宣伝を禁止しよう

同意点 1. 前述議会の決代の中にも 別の形の pro propaganda  
 (平和を叫ぶとか、原爆とか) をやめようという  
 ところの "あま" なる確認をする。

2. 日本は甲の国の諸問題解決と戦争に作ら  
 戦争はする可く "あま" という形に "と" やめる

3. 不除戦争の解決に戦争の法に全たてよ。  
 若し "せ"、甲の国に教育をする。

4. 実行のためには 民衆の間に平和と友誼を  
 絶めよ。文化科を教育的関係と peaceful  
 and friendship 協力をする。  
 Newsの circulation で 交款を促進する。予案  
 に "あま"。

5. 別の甲の憲法。甲の国で "戦争宣伝" 反対に  
 effect を与え "あま" practical measure を  
 採用する。

6. 法案を甲の国が支持する "あま" した。

これは moral 的 "あま" あり。米ソ → 甲の国 も同意。

明日の "あま"。

5-29. ヨーリン: 62項目に修正要求

↳ 本口見解: 予防戦争の侵略

報復主義

ヨーリンの主張の修正

} は戦争宣言(等)あり。

: "良識解放に及ぶ可程" 批難せよ!

: "憲法要法の中" "法伸" (不内法) 批難せよ。

せよ。

既に決意したものに 極端を押し付けたことになった。

原案 in a case of states "非におては"

修正案!!

ソビエト連邦の理由: 戦争propagandaがアメリカで行ったこと... (75-)

- 現  
状  
分  
析
1. 非の内の問題と此の問題を区別せよと... せよ。
  2. 査察の理由はなし
  3. 18ヶ国が賛成した。
  4. アメリカもこれに賛成して"非"あり、多くの非に賛成して... せよ。
  5. それを"非"の非が"非"に... せよ。

↓

これを"非"の非が"非"に自動的に原案 or 修正案の方向に自由の主張として

12ヶ国が賛成した... (非の主張で... せよ、その他の方法で)

質疑応答

小川: ヨーリンの理由

Tom: 良く判らね。 ヨーリンの主張が"非"に... せよ? それで... せよ。 ヨーリンの主張を  
も... せよ。 "平和ヨーリン" 基本... せよ。

Toy: } 刑法上の戦争犯人, ヨーリン: 断罪, 査察の犯人は purge せよと... せよ

Tom: } は... せよ。

12p3'

PHYSICAL INSTITUTE,  
NAGOYA UNIVERSITY

DATE .....

NO. ....

G-3

田中: 立法化の意義がある

坂田: purse は専用されたことある

田中: 適当な形に implement 出来ないか?

Tom: 田中 → 言論の自由. but 憲法9条 他国と少し異なる

山田: 言論の自由は"112" 立法化不可伸 どの程度までか?

Tom: 102 難しい。自由党, 7位

坂田: 立法化の危険

小川(憲): 防衛力についてどの程度はどうか?

Toy: 技術的困難 --- 困難であること

田中: 第5項(最初に一致した点) practical measure

稲島: 戦争の意義 --- 田中

軍縮協定が世界的に発展した理由

軍縮を進めざるに済むこと

山田: 出さなければ判じの乙はな...

戦争意義を禁止する